

専修大学

## シンボルマーク・ペットマーク 決定

かねてから選考を進めていた専修大学の新しい顔となるシンボルマークとペットマークがこのほど正式に決定した。使用に関するマニュアル等は今後整備されていくが、学生、卒業生、教職員、ご父母も含めたオール専修人に使っていただき、「両マーク=専修大学」とイメージできる広報活動を展開していきたいと考えている。

### 決定までの経緯

昨年10月から両マークを公募し、各学部教員代表、職員代表、学生代表、校友会・育友会代表など計20人の選考委員会を開催した(選考委員長は学長)。2回の選考委員会で大賞(採用作品)に該当するものはなく、優秀作品各2点を表彰した。

その後、事務局(広報課)が中心となり、新しい専修大学の姿をイメージ出来るデザイン案を選考委員会に提示。満場一致で両マークが決定した。学内諸機関への報告を終え、商標登録申請をしている段階である。

### シンボルマーク



「S」の字は、専修大学の「S」と21世紀ビジョン「社会知性(Socio-Intelligence)」の開発を象徴するものであり、ブルーは大海原をイメージした。それが、地球に見立てた緑の円を包み込んでいる様は、専修大学で「社会知性」を育んだ人材が世界に輩出され、大海原のように激しく変化する国際社会を支えている様を表現。また、地球を表す丸は、本学のスクールカラーを使用した。

禁断転載利用

### ペットマーク



このマークは、既に体育会のキャラクターとして使用されているデザインを基に制作されたもので、ライオンの顔に鳳の羽を配した体育会のシンボルマークをデザインしたものである。今回の作品は、より多くの人に愛されるよう更にかわいらしくデフォルメした。ライオンの顔と鳳の羽を配したこのデザインは、若者たちに無限の可能性を持つ未来へ力強く羽ばたいてほしいという思いも込められている。

禁断転載利用

## アテネ五輪金メダリストA・ピアソル選手が専大プールでクリニック



背泳ぎが速くなる秘訣を真剣に聞くちびっ子スイマー

アテネ五輪で3つの金メダル(100メートル・200メートル背泳ぎ、400メートルメドレーリレー)を獲得した米国のA・ピアソル選手のスイムクリニック(あらいSS主催)が10月30日に生田総合体育館プールで行われた。100人を超えるスイマー達はメダリストの泳ぎに目を見張り、気軽に写真撮影に応じてくれたピアソル選手に大感激!

---

## 大学解体新書

専修大学創立125年記念対談

10月30日付朝日新聞(朝刊・全国版)に「大学解体新書」として全面広告を掲載いたしました。これは創立125年目を迎えた本学と創立125周年の朝日新聞社との共同企画であり、同社のご厚意により本紙への転載が認められたものです。

---

## 雅(みやび)な調べ

三曲研究会定期演奏会



カラフルな演出も...

三曲研究会(村井祐介代表・ネット情報3、会員55人)の第36回定期演奏会が川崎市の麻生文化会館で開催された。箏、三味線、尺八の3種の楽器の雅な調べが会場に響き、約370人の聴衆を楽しませた。

「竹の群像」「松風」「ディヴェルティメント」「花織」など古典から現代曲まで多彩な11曲を披露。特に「竹の群像」では、尺八奏者の会員が多数揃ったことで迫力ある“尺八11人奏”が実現し

た。

会員たちは、演奏会前には会場近辺でデモンストレーションを行うなどPR活動にも努め、この演奏会を楽しみにしているリピーターも多い。代表の村井くんは「演奏会は、1年間の活動成果の最も大きな発表の場。部員一人ひとりがひとつにまとまった演奏が出来ました」と話す。

---

## キャンパス探訪 21

### アートの旅

『Innocence(無邪気)』

『刻-I』



▲『Innocence(無邪気)』



▲『刻-I』

生田校舎8号館1階ロビーの2点。『Innocence(無邪気)』は抽象画で、色彩は明るいですが、ぼんやりとした中に線化された人物とおぼしき像が浮かび上がる。井上寛子氏(朱葉会会員)から91年(平3)に寄贈された。

田口能理子氏(日本美術家連盟会員)の『刻-I』は具象だが、鉄骨の高層ビルを背景に、人物3人(あるいは影のような4人)が描かれる。線の強い構成で「刻む」ように描かれているが、それだけではない。画面の随所にPassage, Time, Future...などの言葉が目立たぬように書き込まれている。色調は黒と濃紺で、明るくはない。

背景に溶け合わない感じの人物像。現代への「無知(無邪気)」。大正時代に自死した芥川龍之介の言葉「ぼんやりしたものへの不安」を感じた。

【ニュース専修2004年11月号1面】